

医学英語演習（高橋俊介）

Medical English (Shunsuke Takahashi)

キーワード

- ① 英語論文
- ② 論文執筆
- ③ コミュニケーション
- ④ 歯科・医学英語
- ⑤ 基礎実験英語

授業概要

グローバルな研究者には英語力、すなわち英語による会話・プレゼンテーション・ディスカッションの能力、英語による文章・論文作成能力が必須の要件となっている。本演習では、外国人とのコミュニケーション能力と英語論文執筆能力の向上を目標とし医学英語を教授する。特に、読み書き能力の向上を目的に、情報検索、論文執筆およびメールでのやりとり役に役立つ単語や表現方法を教授する。聞き取り能力向上については、学会等でのディスカッションを目標に、英語に慣れるためのウェブサイト等の利用方法について教授する。

授業科目の学修目標

グローバルな研究者には英語力が必須の要件である。本演習では、英語論文の読解、執筆能力と、英語でのコミュニケーション能力を醸成することを目標に、医学英語を教授する。

授業計画

- ① 英語論文の読解について 4コマ 小松知子
- ② 執筆について 6コマ 高垣裕子
- ③ コミュニケーションについてをゼミ形式で講義を行う。 4コマ 向井正太
- ④ 振り返り学習 1コマ 高橋俊介

教科書および参考書

ライフサイエンス英語表現使い分け辞典（羊土社）、ライフサイエンス英語 類語使い分け辞典（羊土社）
学術英語論文および医学や科学に関するNY Timesの記事

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

医学英語演習では授業項目と関連する英語を熟読し、概要の理解が求められる。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 英語論文が読解でき、内容を日本語で説明できる。
- ② 実験に必要な基本的な内容を英語で執筆できる。
- ③ 実験に必要な基本的な内容を英語でコミュニケーションできる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
40%	30%	30%	0%	0%	0%	0%

評価の要点

小テスト(15回×2% : 30%)とレポート(15回×2% : 30%)は、授業終了後、毎回行う。※ビデオ視聴の回は0点
最終第15回にまとめ試験を行う(1回40%)

理想的な達成レベルの目安

医学英語演習の理想的な達成レベルは80%以上とする。